

# ひこね 市議会だより



交通安全見まもり活動  
(稲枝地区)

## 平成29年9月定例会(9月4日~10月12日)

- 9月定例会で決まったこと… 2~7
- 代表質問…………… 8, 9
- 個人質問…………… 10~19
- お知らせ…………… 20~24

予算関係3件、決算3件、諮問3件、その他議案3件を原案のとおり、可決、認定、同意および適当と認めました。

また、請願は2件のうち1件を採択、1件を不採択とし、会議案1件を修正可決、修正案1件、意見書1件を可決しました。



### 障害者施設整備事業

1,692万9千円

常時、医療ケアが必要な障害（児）者のニーズを背景に、訪問看護ステーションふれんず株式会社が運営する療養通所介護事業所が移転するための工事費用などへの補助金です。

現在は、賃貸物件にて事業実施しているため定員は5名ですが、施設整備後は定員が15名となります。

### 除雪対策事業

625万円

自治会等の自主的な除雪活動に必要な機材の購入のための補助金や、新たに、自治会等が実施する機械除雪作業委託のための補助金、および、除雪体制（出勤）判断のための気象予測情報提供委託にかかる経費です。

観光駐車場設置事業

1,457万7千円

観光駐車場に設置している公衆便所について、近年の観光客のニーズ、外国人観光客の増加等に対応するため、和式便器から洋式便器へ変更するための経費です。

〈工事内容〉

①二の丸駐車場（2箇所）210万6千円



②京橋口駐車場（5箇所）448万2千円



③いろは松駐車場（4箇所）345万6千円



④桜場駐車場（2箇所）200万8千8百円



⑤本町駐車場（1箇所）98万2千8百円



## 予算常任委員会

### 医療ケアが必要な障害者の 施設整備事業等予算を可決

予算常任委員会は、9月15日と29日に委員会を開催し、3件の議案について慎重に審査しました。

#### 【審査】

・議案第74号、議案第75号、議案第82号

#### 【主な内容】

○議案第74号 質疑

Q 公衆トイレ改修はいつから開始するのか。

A 11月頃設計、年内契約、年明け3月から着工予定である。

Q 稲枝駅西口開発と稲部遺跡出土に伴う道路工事はいつ完了するのか。

A これから測量、詳細設計に入り文化財調査完了後の着手に伴い、当初予定の平成35年より遅れる。

Q 除雪対策事業における補助金申請は誰がするのか。

A 自治会やPTA等が申請する。

Q 障害者施設整備事業の市補助金はどのように算出している。

A 本体工事費から国、県補助金を引いた金額を用いて市の補助金を算出している。

○議案第74号 討論

反対 5年で6億円もかかる小学校給食民間委託業務については、市直営で管理すべきである。

#### 【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決

## 市民産業建設常任委員会

### 彦根愛知犬上地域ごみ処理施設に関する 請願を採択

市民産業建設常任委員会は、9月20日に委員会を開催し、1件の議案と1件の請願について慎重に審査しました。

#### 【審査】

・議案第76号

・請願第3号

#### 【主な内容】

○請願第3号（彦根愛知犬上地域ごみ処理施設に関する請願書）について

・彦根愛知犬上広域行政組合の新ごみ処理施設の建設候補地の決定にあたっては、行政組合において慎重に審議されるよう、彦根市議会から意見書の提出を求めるもの。

#### 【結果】

・議案第76号は原案のとおり可決

・請願第3号は原案のとおり採択

## 企画総務消防常任委員会

### 請願第4号は賛成少数で不採択

企画総務消防常任委員会は、9月21日に委員会を開催し、1件の請願について慎重に審査しました。

#### 【審査】

・請願第4号

#### 【主な内容】

○請願第4号（日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、批准することを求める請願）について  
 ・日本政府が、すみやかに核兵器禁止条約に署名し、批准するよう、彦根市議会から意見書の提出を求めるもの。

反対の発言 政府として核兵器を認めようとしているわけではない。現実論として、核兵器不拡散条約に基づき核軍縮を進めていくことに重点を置くべきと考えるため、本請願に反対する。

賛成の発言 日本は唯一の被爆国であり、アメリカの核の傘に入っていると看做しても、その立場をアメリカに理解してもらい、核兵器禁止を訴えられるよう外交努力するべきである。地方自治体として、意思表示を政府にしておくことは大切であると考えるため、本請願に賛成する。

#### 【結果】

・請願第4号は不採択

### 新市民体育センター整備調査特別委員会中間報告

#### 今回は概算事業費について説明を受ける

6月24日に開催した第4回の委員会では、市内の競技団体や関係団体との協議結果について報告を受けた。7月25日に開催した第5回の委員会では、基本設計について集中的に協議を行った。また、今後の特別委員会のあり方についても意見が出された。9月1日に開催した第6回の委員会では、基本設計に盛り込む内容として配置計画案、立面計画の基本方針、バリアフリー計画についての提案を受け、協議を行った。次回の第7回の委員会では概算事業費について説明を受ける予定である。

### 議会改革特別委員会中間報告

#### 彦根市議会初の大学連携を協議

7月13日に開催した委員会では、「協議項目の整理について」および「大学との連携について」の2件について協議を行った。

「協議項目の整理について」では、台風や豪雪といった自然災害が頻発する現状を踏まえ、「災害発生時の議員行動マニュアルの策定」に向け、先進地における取組事例などを次回委員会で報告し、策定に向けての協議を急ぐこととした。

「大学との連携について」では、滋賀大学経済学部との協定書案やスケジュール等についての協議を行い、彦根市議会として初の試みである大学連携を進めることを確認し、具体的な事業や連携内容は、広報広聴の3委員会決定することとした。

# 決算特別委員会を設置

議案第77号、78号、81号を審査するため、決算特別委員会を設置しました。

## 各常任委員会所管事項にかかる質疑

委員 ※◎=委員長 ○=副委員長

◎西川 正義	○辻 真理子	
小菅 雅至	獅山 向洋	野村 博雄
安藤 博	中野 正剛	馬場 和子
夏川嘉一郎	山田多津子	

### 企画総務消防

（歳入）市たばこ税への認識、固定資産税および都市計画税収入率改善の理由、ふるさと納税の事業間で差が出ていることへの見解 等

（歳出）議会研修会等出席負担金の内容、議員年金給付負担金の推移、地域おこし企業人交流プログラムによる事業、公用車両の運行状況、広報ひこねの配布方法、市政PRに係る各放送局への支出内訳、安全運転研修の内容と効果、参議院議員選挙の職員手当および啓発費が執行されていない理由、防災体制整備事業に係る備蓄数、消防費に係る劣化診断委託の内容 等

### 市民産業建設

（歳入）保留地処分金の内容、農地中間管理機構農地集積推進事業費補助金等に係る市独自の取組 等

（歳出）ごみ収集車更新の内容、使用済蛍光灯リサイクルの効果、不法投棄等パトロールの実施内容、FMひこね「国際交流アワー」の費用、経済活性化委員会事業の実績、工場等設置奨励事業に係る地元雇用の状況、「住もうよ！ひこね」リフォーム補助事業の実績および経済効果、夜間観光誘客促進事業の実績と今後の見込み、空き家等対策事業に係る調査結果の活用方法、出産一時金の予算額算出根拠 等

### 福祉病院教育

（歳入）給食費徴収金の収納未済額の状況と徴収体制 等

（歳出）生活保護および生活困窮者自立支援の状況、今後の老人クラブのあり方、広報の点訳率、子ども療育センター増築内容と増築による効果、学力向上推進事業の効果を確認する手法、ウッドジョブ体感事業の内容と今後の展望、幼児画展開催に伴う教職員の体制と今後の出務のあり方、荒神山自然の家の利用実績および今後の活用方法、小学校給食調理業務民間委託に係る調理員の雇用状況、はり・灸・マッサージ施術費給付事業の実績 等

## 委員会での討論

### 議案第81号に対して、賛成の立場から

財政の健全化や単年度収支に関する全般的な質問では、数字に表れている彦根市の現状が分析され、その中で市税収入や滞納に係る収納率がアップしている状況が明らかとなり、今後の取組に期待する。

また、不用額に関して、発生理由についての分析もされており、今後不用額が発生しないよう、市民に寄り添った形で執行を願ったうえで一定理解をする。

今後は、新市民体育センター整備など大型事業への相当額の支出も想定される。事業の緊急性や投資効果等を精査するとともに、引き続き市債管理を適切に行い、可能な限り国庫補助や地方交付金制度を活用する努力を怠らず、市民の安心と安定を保ち、持続可能な市政運営をしていただくことを強く申し入れ、賛成する。

### 議案第81号に対して、反対の立場から

彦根市の経常収支比率は、県内ワースト2位である。経常収支比率が高いということは、新たな事業ができなくなるということであり、彦根市は苦しい状況にあるということを確認し、平成28年度決算は問題ありと考えなければいけない。

また、産業部所管の経済活性化委員会事業について、平成28年度に委員会は一度も開かれていないとのことであり、不要であるならば予算から削るべきであることから、反対する。

### 議案第77、78、81号に対して、賛成の立場から

危機管理経費のうち防災体制整備事業について、いつ起こるかわからない災害から市民を守るためにも災害用備蓄品保管の委託料や城南小学校の防災備蓄倉庫の設置等をされており、さらなる備蓄品の充実を求める。

「住もうよ！ひこね」リフォーム補助事業については、平成28年度において、辞退者を除き100%対象としていただいたことは評価させていただく。彦根市の地域経済活性化に大きな貢献をしている事業であり、更なる拡充をお願いしたい。

市立病院については、昨年9月に1名の産科医が着任され、今年の3月までを見ると、分娩数も増えている。平成28年度は周産期医療の充実が図られた年度と思っている。

この3日間、さまざまな角度・視点で各委員が議論また指摘いただいた部分については、平成30年度の予算編成において、参考というレベルではなく、しっかりと聞いていただき、盛り込んでいただくことを期待して、賛成する。

## [決算特別委員会での審査結果]

議案第77号、78号、81号は、  
いずれも原案のとおり  
**認定**

# 9月定例会の議決結果

## 9月定例会 議案の審議結果

会期：9月4日～10月12日

### ■全員賛成で可決した議案等

項目	番号	件名
議案	75	平成29年度(2017年度)彦根市病院事業会計補正(第1号)
	76	彦根市公園条例の一部を改正する条例案
	78	平成28年度(2016年度)彦根市水道事業会計の決算につき認定を求めることについて
	79	彦根市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
	80	彦根市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	82	平成29年度(2017年度)彦根市一般会計補正(第5号)
諮問	1	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
	2	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
	3	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
請願	3	彦根愛知犬上地域ごみ処理設に関する請願書
意見書	1	彦根愛知犬上地域ごみ処理設に関する意見書案

補正予算 議案第74、75、82号
決 算 議案第77、78、81号
人事案件 議案第79、80号
議員提案条例 会議案第1号、会議案第1号の修正案

### ■議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	21	損害賠償の額の決定について
	22	平成28年度(2016年度)一般財団法人彦根市事業公社の決算状況について
	23	第29期彦根総合地方卸売市場株式会社の決算状況について
	24	第20期株式会社夢京橋の決算状況について
	25	第14期株式会社四番町スクエアの決算状況について
	26-32	市の債権の放棄について
	33	平成28年度(2016年度)主要な策の成果、事務報告書および基金運用状況報告書について
	34	平成28年度(2016年度)彦根市の健全化判断比率等について

### ■修正可決された案件

項目	番号	件名
会議案	1	彦根市城山観覧料徴収条例の一部を改正する条例案

### ■賛否が分かれた議案

【賛否が分かれた議案・審議結果】 (○：賛成 ●：反対 ー：議長 欠：欠席)

項目	番号	件名	結果	谷口	獅山	北川	辻	夏川	小川	赤井	安藤	八木	矢吹	和田	野村	杉原	小菅	上杉	中野	山内	山田	奥野	長崎	安澤	安居	西川	馬場	
				典隆	向洋	元氣	真理子	嘉一郎	喜三郎	康彦	博	嘉之	安子	一繁	博雄	祥浩	雅至	正敏	正剛	善男	多津子	嘉己	任男	勝	正倫	正義	和子	
議案	74	平成29年度(2017年度)彦根市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	77	平成28年度(2016年度)彦根市立病院事業会計の決算につき認定を求めることについて	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
	81	平成28年度(2016年度)彦根市各会計歳入歳出決算につき認定を求めることについて	可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	○	○	○
会議案第1号の修正案		彦根市城山観覧料徴収条例の一部を改正する条例案に対する修正案	可決	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	○	○	○
請願	4	日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、批准することを求める請願	不採択	●	○	●	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



質問者  
杉原 祥浩議員

# 公 政 会



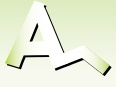
愛荘町竹原区への  
輸送コストは

**Q** 大久保市長は、行政組合の管理者として彦根愛知犬上地域広域ごみ処理施設建設候補地を愛荘町竹原区と発表された。当市からは最も遠くに設置することになり、市民にとって適地とは言えない。ゴミ処理施設が遠くなれば、当然輸送コストが高くなる。新ゴミ処理施設が愛荘町竹原区に設置された場合、当市の年間輸送コストはどれくらい増額するのか。

**A** 塵芥収集を民間委託した場合、収集車一台あたりの費用を年間2500万円とすると、1億7750万円になると積算されている。ただし、他市の状況などから塵芥収集車一台あたりの経費は、2000万円から2500万円であるため、収集運搬にかか  
る経費は、現在の清掃センターと比べ、1億4200万円から1億7750万円増額すると推定される。



▶ 愛荘町竹原区



最大1億7750万円の  
増額と推定



除雪対策経費の  
補正金額は適正か

**Q** 議案第74号平成29年度（2017年度）彦根市一般会計補正予算（第4号）の中で除雪対策経費について、地域除雪作業補助金の住民等委託補助、業者等委託補助の金額が桁を間違っているのではないかと思われるほど少額である。今期も大雪に見舞われたらどうするつもりなのか。あまりにも危機管理がなさすぎるとしか思えないが、見解は。

**A** 地域除雪作業補助金の詳細は、地域やPTAの自主的な除雪の促進と体制の強化を図っていただくものである。降雪日数や降雪量が見込みを超える場合、新たに補助制度の活用希望団体数の増加や作業時間が見込みを超えることが予想される。こうした場合には、状況を把握し、しかるべき時期において更なる補正予算をお願いすることになる。



▲積雪時の緊急対応車両



しかるべき時期に  
更なる補正を計上

その他の質問

- ・平成29年度予算における投資的事業について
- ・安心とぬくもりのある彦根市立病院であるために
- ・金亀公園再整備基本計画について等

9月定例会では、代表質問が行われました。







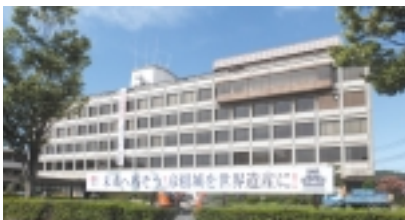
質問者  
夏川嘉一郎議員

# 夢みらい

## Q 安易な民営化は 社会不安を助長

**Q** 近年、貧困化や格差拡大等、地域疲弊化が進行。現政権の飽くなきグローバル化の影響から、今や、地方自治体もこの渦中にあり、結果として行政にも急激な民営化が進展。安易な民営委託は行革に見えるが長期的には多くのワーキングプア輩出、社会不安を更に助長する事になる。行政の本旨は「市民幸福」にある。限りなき民営化は行政のあるべき本旨を違えることにならないか問う。

**A** 本市では行政需要の多様化等による事業増加に対応の為、職員の増員や業務効率化等により、行政サービス向上に努めてきたが、仕事量は年々増加、職員数は条例上の定数に達し、市民サービス維持が困難な状況。この課題に対応する取組の一つとして民営委託は必須のものとして位置付けている。ただし、社会不安助長等はない。民営委託は充分検討を重ねた上で進めて行く。



▲働き方改革について

## A 増加する 市民サービス対応の二つ

## Q 市観光政策の 現状と必要性について

**Q** 先ず、彦根城築城410年祭について伺いたい。入山者目標90万人との事だが、現在ペースで当初目標達成は可能なのか。今後の誘客戦略も併せ問う。次に、観光と市民メリットについてである。観光に予算を費やす事は行政として必要不可欠な事。しかし観光客が増えても彦根市民にはメリット無しと考える市民も多い。「広範な市民利益」とは何か。

**A** 入山者数90万人の達成見込みだが、直弼公の生誕200年祭（平成27年）時の81.7万人をベースに試算すると現時点ではほぼ順調と見る。ただし、天候不順等、不確定要素あり、引続きPR情報発信等、効果的な誘客策を検討したい。

次に、本市に於いて観光は重要な経済活性化策である。観光客の増加は、宿泊、飲食、さらには農林水産や交通まで、広範な業種を活性化。結果として市内全域利益に繋がるはず。



▲彦根市の観光行政について

## A 観光事業の推進は 重要な市経済政策

代表質問は、所属議員3人以上の会派のみが行います。

### その他の質問

- ・平成30年度予算編成について
- ・介護保険制度から切り離された市の総合事業について
- ・彦根市立病院について等

市政を  
ただす!

# 9月定例会個人質問

19人の議員が、市政に対する個人質問を行いました

## 各議員が決める

質問の内容は、議案に限らず市政全般から議員個人が決めます。

## 制限時間は30分

議員1人あたりの発言時間は30分です。一問一答方式で行い、答弁は市長や各部長等が行います。

## 動画で見る

市議会のホームページから、個人質問等の様子をライブ・録画中継で見ることができます。

A

4文化施設の  
計画素案は年内に示す

A 現在2階に所在している

減価償却費を念頭に置き、市税で整備した施設の積極、有効活用を求める。

Q 福祉センターには遊休スペースがあり活用されていない。

A H32年度までに個別計画が策定できるように進める。

Q 他の公共施設の計画は。

A 今年度新たに創設された国の地方債措置の活用が図れる計画素案を年内には示す。

A 今年度新たに創設された国の地方債措置の活用が図れる計画素案を年内には示す。

Q H28年度に策定予定であった公共施設等総合管理計画に基づく文化施設個別計画(市民会館、文化プラザ、みずほ・高宮地域文化センター)の進捗は。

Q H28年度に策定予定であった公共施設等総合管理計画に基づく文化施設個別計画(市民会館、文化プラザ、みずほ・高宮地域文化センター)の進捗は。



奥野 嘉己議員

Q

公共施設等総合管理計画の  
進捗について

福祉保健部、子ども未来部の業務スペースが狭隘なため、介護福祉課と障害福祉課の1階への配置換えを、本庁舎が整備されるH31年5月を目途に行うことを検討している。

### ▼福祉センターの減価償却費について

	面積	減価償却費/年間
1階	807.9㎡	¥3,199,126
2階	814.0㎡	¥3,223,361
3階	586.0㎡	¥2,227,698
合計	2223.8㎡	¥8,807,040/年

※「合計」欄は、1~3階までの総計と「屋上エレベーター機械室」分を合算したものの

### その他の質問

- ・市立病院新改革プランの進捗について
- ・彦根市財政の長期見通しについて



女性の視点を防災対策に



上杉 正敏議員

な学習の時間、特別活動、行事等で進めやすい内容となっており、「知る」「備える」「生かす」の3部から構成され、防災学習が進められている。

**Q** 女性視点での防災対策の充実について見解は。

**A** 彦根市では、東日本震災時に、避難所生活で女性の意見が反映されにくかった問題を踏まえ、平成25年度に作成した災害備蓄計画で、生理用品、オムツ、粉ミルクの備蓄数を増加した他、平成26年度には、男女共同参画の視点に配慮した「彦根市避難所運営マニュアル」を作成した。

**Q** 若い世代の小中学生への防災教育の取組について見解は。

**A** 小中学校においては、防災教育副読本「明日に向かって」を活用し、防災教育を進めている。教科をはじめ、総合的



男女共同参画の視点に配慮した市防災計画を



▲防災訓練の様子

その他の質問

- ・避難情報のあり方について
- ・重症心身障害者施設の充実を
- ・子ども・若者支援のあり方について



JR稲枝駅西側地区の開発状況は



西川 正義議員

画制度の運用基準の策定のための検討を行っている。市長公約でもあり、西側地区の開発に強い気持ちで取り組んでいきたい。

**Q** 開発に必要な国・県への認可手続等は。

**A** 国・県への認可方法として当該地区が「農業振興地域の農用地であることから、その除外が必要である。その後、県との協議手続きを行い、市が地区計画の都市計画決定を行う。また、農地転用許可も同時に取得していくこととなる。



▲開発が待たれる稲枝駅西側地区

その他の質問

- ・改正年金機能強化法における彦根市の対応は



開発に向け、県等との協議を継続、推進する

**A** 平成29年3月に「彦根市都市計画マスタープラン」を改定し、当該地区のまちづくりをマスタープランに位置づけたところである。現在、市街化調整区域における地区計



Q フードバンク設立に対する彦根市の見解は



安藤 博議員

フードバンクの仕組みづくりを検討している。まずは、市内で展開している、子ども食堂等と連携を図りながら、取り組んでいくには、どのような手法が有効か探っていく。

Q 群馬県太田市で実施している「フードバンクおた」について視察研修を行った。その基本理念は、食べられるにもかかわらず処分されてしまう食品等を、企業や個人等からの寄贈を受け、生活困窮のため支援を必要としている人に適切に配布し、地域の仕組みとして確立させ、相互扶助の社会を目指すことである。全国一の福祉モデル都市を目指す彦根市として、フードバンクの設立に対する見解は。

A 彦根市社会福祉協議会へ委託している「彦根市子ども若者を応援するひとづくり・地域づくり事業」において、



▲群馬県太田市のフードバンク

その他の質問

- ・市長公約の実現について
- ・教育行政について

A 子ども食堂等と連携し手法を探っていく

Q 川嶋副市長の辞任騒動 市長の見解は



北川 元気議員

A 市長は文書に関与しておらず、あくまで私（川嶋）の一存で行った。  
Q 文書の責任は。  
A 弁護士等の専門家に相談のうえ対応する考えである。

Q 辞表の詳細は。  
A 6月26日に「一身上の都合」で市長に提出した。その理由は、体調の問題とごみ処理施設建設候補地の決定過程で力不足を痛感したため。その後、市長をはじめ10名ほどから説得があり、なお職責を果たすべきと考え、7月3日に辞表を取り下げた。

Q 川嶋副市長と原町で交わされた文書の詳細は。  
A 原町がごみ処理施設の候補地となる方向である旨を記載した内容で、5月30日に私（川嶋）から一方的に地元関係者に渡した。

Q 市長は関与していたのか。  
A 市長は関与していたのか。



▲議場での市長・副市長の席

その他の質問

- ・彦根市長選挙における大久保市長の選挙違反の可能性は
- ・広域行政組合での大久保市長の発言について

A 重く受け止めている。不徳の致すところ。



彦根市の在宅医療への取組は



小菅 雅至議員

**Q** 市内の高齢独居や高齢夫婦の世帯数は。

**A** 平成27年の国勢調査の結果では、高齢単身世帯数は3898世帯、高齢夫婦世帯数は4779世帯である。

**Q** 在宅医療のメリットについての見解は。

**A** 住み慣れた場所で、家族や友人、地域の人と思い思いのときを過ごしながら、医療を受けることができる。

**Q** 在宅医療チームの構築は十分か。

**A** 医師、看護師、ケアマネジャー、ヘルパー、リハビリ専門職、デイサービス職員などが情報を共有し、連携した



在宅医療福祉の推進に努めていく

支援を図れるよう、療養される方の状況に応じたチームが構築されている。今後も療養生活や家族の支援を行えるよう、医療と介護の連携の推進に向けた取組を進めていく。



▲みんなで支え合う在宅医療

その他の質問

- ・在宅療養者の家族に対する支援は十分か
- ・市立病院の退院支援の取組は
- ・医療と介護の連携の相談支援体制は



幼稚園への早急なエアコン設置が必要では



山田多津子議員

**Q** 3年前から幼稚園に室温調査を依頼した結果、7月で3度を超えていることをどのように認識しているか。

**A** 全園で最高室温が熱中症警報ラインを超えており、園児・保育者に厳しい環境である。

**Q** 低年齢児や特別支援の必要な園児は体温調節が未確立で、体温をクールダウンさせるため冷却剤などを使用し、体調管理をしている実態をどのように認識しているか。

**A** 保健室等のエアコン設置の部屋で体調不良者への対応をしてもらっているが、それだけでは不十分であることは承知している。安心、安全な



順次1園に1カ所ずつでも設置していきたい

保育環境になるよう努めていく。  
**Q** 小・中学校へのエアコン設置が完了。幼稚園へも早急に設置すべきであるが見解は。  
**A** 一斉設置は困難だが1園に1カ所ずつでも設置したい。

▼幼稚園室温調査記録票

	月	火	水	木	金	
7月	3日	4日	5日	6日	7日	
	10時	30.0	30.0	27.0	29.0	30.0
	13時	33.0	33.0	27.0	31.0	34.0
	15時	35.0	32.0	28.0	32.0	35.5
	10日	11日	12日	13日	14日	
	10時	28.0	31.5	32.5	30.5	31.5
	13時	32.0	34.5	34.0	34.0	32.0
	15時	34.0	35.5	35.5	35.0	32.5
	17日	18日	19日	20日	21日	
	10時	31.0	32.0	33.0	31.0	
	13時	33.0	35.0	34.0	33.0	
	15時	33.0	35.0	35.0	34.0	

※6月～9月まで計測されているうち、1園の7月分調査記録より抜粋しました

その他の質問

- ・現体育センターを取り壊すことについて
- ・石寺町地先に計画のラウンドアバウト交差点について

Q 朝鮮通信使の「世界の記憶」登録担当は



和田 一繁議員

研究をさらに深め通信使が運んできた文化、彦根藩による文化の吸収、彦根城とその関連資産の世界遺産登録に資するような背景情報にできないか、検討していく。



▲朝鮮通信使上官の宿泊所であった宗安寺

**Q** 朝鮮通信使の世界の記憶遺産登録担当はこの部局か。  
**A** 朝鮮通信使に係る自治体間の連携については国際交流の観点から人権政策課が担当しており、朝鮮通信使の「世界の記憶」に係る連絡調整等の事務も行っているが、「世界の記憶」の登録については、文化財としての専門性も要求されることから、文化財部が担当するのが適当である。  
**Q** 彦根城世界遺産登録との連携強化は必要ではないか。  
**A** 世界遺産登録においても文化交流の視点が重要である。朝鮮通信使を含む江戸時代のさまざまな文化交流について

A 文化財部が担当するのが適当である

その他の質問

- ・410年祭期間中の太鼓門櫓改修について
- ・近隣の駅構内における410年祭PR媒体について

Q 主食用の米はどれだけ作ればよいか



長崎 任男議員

入れている農地について、農業者からの申請によらず、都道府県が農業者の費用負担や同意を求めないで、地域の特性に応じた大区画化や汎用化を推進する基盤整備事業である。



▲亀山学区の田園風景

**Q** 平成30年からの農業の取組について、主食用の米は、どれだけ作ればよいか。  
**A** 彦根市農業再生協議会においては、国から示される民間在庫量や需要実績のほか、県の再生協議会の生産目標等を勘案し、本市の主食用米の生産目標を算出し、数量と面積でお示しする。  
**Q** 新たに創設された収入保険制度とはどのようなものか。  
**A** 品目の枠にとらわれず、価格の低下などの収入減少を補填する仕組みで、平成31年から実施される。  
**Q** 農地の大区画化の推進とは。  
**A** 農地中間管理機構が借り

A 生産目標を算出し数量と面積でお示しする

その他の質問

- ・彦根市の除雪体制について
- ・市の直営の除雪体制は
- ・通学路を優先して除雪すべきでは

彦根バリアフリーマップの  
更なる充実を



中野 正剛議員

**Q** 彦根バリアフリーマップへの掲載施設の応募状況は。

**A** 現在、334件の施設等を掲載しているが、ここ数年マップへの掲載を希望する施設はない。広報ひこね等を通じて周知を図っていく。

**Q** 車イスユーザーが入れる飲食店の情報を彦根バリアフリーマップに掲載しては。

**A** 飲食店情報については、施設検索で項目をクリックして探すことが出来るようになっていくが数が少ない。今後は、飲食店に限らず、少しでも多くの施設を掲載できるように努めていく。

**A** 多くの施設掲載が  
図れるよう周知していく

店舗の充実への考えは。  
**A** 近年、本市でも外国人観光客が増加している。こうした状況の中、多文化共生など総合的なバリアフリーの視点で情報収集し、掲載していく。



▲バリアフリーマップイメージイラスト

その他の質問

- ・彦根市の水害、土砂災害予防対策は
- ・気象庁の気象防災業務のあり方について
- ・「ゾーン30」について

部活動遠征時の自転車利用の  
規定を作るべき



赤井 康彦議員

**Q** 市内で大会等がある場合、ある程度の距離なら自転車を利用するかと思うが、距離の限度がある。遠征時の自転車利用の規定などはあるのか。

**A** 明確な規定はなく、会場までの距離や交通状況、引率する生徒数、会場の最寄駅までの距離、生徒の持参物等を考慮し各校で判断している。

**Q** 例えば彦根西中学校で大会等がある時、稲枝の生徒はどういった方法で行くのか。費用がかかるレンタカーバスの利用が厳しいとなると、少々の距離なら自転車利用となる事もあると思うが、長距離になればなるほど事故が懸念されるべき

**A** 明確な規定がなく、  
各校での判断となる

れる。遠征時の自転車利用規定を設けるべきではないか。  
**A** 今後、移動手段を考えていかねばならない。校長会等で指導していく。



▲部活動に向かう中学生

その他の質問

- ・クビアカツヤカミキリを水際で食い止めるべき
- ・守るべき生物はどれくらい存在するのか



業者への作業単価を含めた除雪経費見直しを



谷口 典隆議員

**Q** 本年1月の積雪により市内の幹線道路は交通が麻痺し、市民らに多大なご迷惑をかけた。今冬の除雪対策は充分か。

**A** 除雪作業は初動が重要との認識に基づき、3時間ごとに気象予報士による気象予報の提供を受けるなど迅速な除雪作業に取り組む予定である。

**Q** 県道と接する市道の除雪等についての県との協議進捗は。

**A** 県庁の道路課や湖東土木事務所等と情報共有を行うとともに、除雪業者への支援体制等について協議を重ねている。

**Q** 来年度の積雪に備え、除雪業者の作業単価などを含めた除雪経費を見直し、平成30



効果的な除雪に向けて来年度に見直しを予定

年度の当初予算で大幅に拡充を。

**A** 除雪作業単価の見直しを行うとともに作業状況を把握し、より効果的な作業とするためにGPSや道路状況監視カメラの導入を予定している。



▲本年1月の積雪時の彦根市内

その他の質問

- ・パーク・アンド・バスライドについて
- ・市立病院産婦人科部長退職に伴う対応は
- ・川嶋副市長の辞職騒動について



初代うみのこ黒船構想の実現可能性の見解は



馬場 和子議員

**Q** 滋賀県が保有する「環境学習船・初代うみのこ」の今後に関する情報の把握は。

**A** 老朽化により平成30年に新船が就航予定で、今後の取り扱いは未定とのこと。

**Q** 幕末に開国へと舵を切った井伊直弼公ゆかりの彦根の湖岸に陸揚げし船体を黒塗りしたうえで、開国関連の展示とともに、国体開催時や国体後のジュニア向け大会開催時に児童・生徒の宿泊施設としての活用や、観光の目玉とすることも視野に「初代うみのこ黒船構想」に対する見解は。

**A** 相当の改修経費や維持管理経費が見込まれることなど



改修経費や維持管理経費等から極めて困難

から、極めて難しい。

**Q** 夢を紡ぐための先行投資も必要であり、実現のための方策を検討してはいかがか。

**A** たいへん難しいと考えているので理解願いたい。



▲間もなく役目を終える「初代うみのこ」

その他の質問

- ・国県との関係性から本庁舎耐震・国体・県立プール・西高跡
- ・地場産業の後押しは
- ・福祉バス等の利用制度変更理由と復活は





自治会の活動低下が危惧される中  
市の支援は



小川喜三郎議員

を目的に役員のなり手不足を解消するため、OBによる研究員制度で人材育成しているが、  
A 提案の登録制度による人材育成はすばらしい取組。費用面もあることから研究する。

Q 自治会の位置付けと期待は。  
A まちづくりの良きパートナーとして、住民の結びつきが強まり、より活性化を期待。

Q 未結成地域への呼びかけは。  
A 宅地開発事業者に通知等を行なっているが、既存団地等への働きかけはしていない。

Q 各種補助金等の支援周知は。  
A 自治会長合同説明会等で案内。自治会が対象のため未結成の地域への交付実績はない。

Q 自治会等の活動が年々低下傾向にあり役員のなり手がない。市としてリーダー育成は。  
A 自治会長説明会でリーダー育成の講演等を行っている。

Q 他市では、活動の活性化  
A 他市では、活動の活性化



活性化のためリーダーの育成を研究する



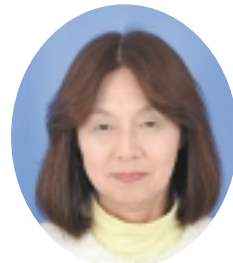
▲まちづくり推進室の窓口

その他の質問

- ・自治会連合会の支援
- ・市民活動センター
- ・読書条例の制定や学校図書の一元管理、街中図書館構想と市民の寄附制度導入策



39歳以下の女性も  
乳がん検診の対象に



辻 真理子議員

の財政負担となるか。  
A 個人負担金を考慮せず、平成28年度受診率で計算すると、1591万円余り必要になる。

Q 彦根市の乳がん検診の現状は。  
A 平成28年度における本市の乳がん検診の受診状況は、対象者33347人に対し、受診者は5209人で受診率は15.6%となっている。

Q なぜ39歳以下の女性にワコン検診を実施しないのか。  
A 39歳以下は乳腺が発達しているため、マンモグラフィ

検査では腫瘍と乳腺の区別がつきにくく、検診の有効性が認められていないため、実施していない。国や県の指針の見直しがあれば、検討する。

Q 39歳以下にもワコン検診を広げた場合、どの程度  
A 39歳以下にもワコン検診を広げた場合、どの程度



国や県の指針の見直しがあれば検討していく



▲ピンクリボン（乳がん検診推進等活動のシンボル）

その他の質問

- ・市立病院における地方公営企業法全部適用の成果は



もっと積極的な  
交通安全対策への取組を



野村 博雄議員

Q 市民の大切な生命を守るという観点から、交通安全対策、交通事故防止に対する市の基本的な考えは。

A 昨年度、第十次交通安全計画を策定し、生活道路の交通安全の推進、通学路等の交通安全の確保等を重点課題とするとともに、警察等関係団体と連携して各種啓発活動を行う等、交通安全の推進に取り組んでいるところである。

Q 市民の大切な生命を守るという観点から、交通安全対策、交通事故防止に対する市の基本的な考えは。

A 今後は、交通事故の発生状況や事故原因に関する詳細な情報を警察と共有する等、更に緊密な連携を図り、一層積極的な対策に努める。



▲交通事故が懸念されている生活道路交差点



事故情報を共有し  
一層積極的な対策に努める

Q 市民から寄せられる事故情報や改善の要望を受けて対応するだけでなく、警察と情報を共有を図る等して交通事故情報を能動的に把握し、より積極的な交通安全対策を講じ

その他の質問

- ・河瀬公園の進捗と市の大型事業として一層の取組を
- ・地域防災計画全面改定を受け、より強固な防災体制確立を



彦根シティマラソン等  
ロードレースの今後は



矢吹 安子議員

Q 県立運動場の解体工事は、スポーツ会館・プールを平成29年10月～30年5月、庭球場・管理棟は平成30年2月～7月、陸上競技場スタンド・雨天練習場は平成30年5月～8月頃に解体予定と聞いている。ゲストランナーはどなたか。複数の候補者から調整中。来年度以降のコースは。城下町の美しい自然や文化等、より彦根の良さを知っていただけのコースを検討する。

Q シティマラソンの展望は。

A 市を代表するスポーツイベントで、多くのスタッフや市民の応援を受け「する・みる・支えるスポーツ」の推進により、

元気なまちづくりにつながる。ワールドマスターズゲームズもこれまでのノウハウを生かし、競技場整備後は今以上に素晴らしい大会を期待している。



▲昨年の彦根シティマラソンの様子



整備後は、今以上に  
素晴らしい大会を期待

Q 県立運動場の解体工事は、スポーツ会館・プールを平成29年10月～30年5月、庭球場・管理棟は平成30年2月～7月、陸上競技場スタンド・雨天練習場は平成30年5月～8月頃に解体予定と聞いている。ゲストランナーはどなたか。複数の候補者から調整中。来年度以降のコースは。城下町の美しい自然や文化等、より彦根の良さを知っていただけのコースを検討する。

Q シティマラソンの展望は。

A 市を代表するスポーツイベントで、多くのスタッフや市民の応援を受け「する・みる・支えるスポーツ」の推進により、

その他の質問

- ・職員の不祥事に対する今後の対策は
- ・彦根市一般職職員分限徴戒審査委員会について



政府は核兵器禁止条約を  
批准せよ、と発信を



山内 善男議員

**A** 核兵器廃絶に向けて世界各国の都市で構成された団体。  
**Q** 核兵器廃絶都市宣言も宣言している市として、政府に批准を迫るべきではないか。  
**A** 平和首長会議で求めていく。

**Q** 国連で核兵器禁止条約が3分の2の国の賛成で採択され、唯一の被爆国として署名・批准すべきと考える。中満国連軍縮担当上級代表の核兵器禁止世界大会での発言は。  
**A** 被爆者の長年の取組が実現し核兵器を否定した国際法として成文化した。核兵器のない世界に向け一層努力する。  
**Q** 今年の広島長崎の平和宣言はどのように述べているか。  
**A** 政府に対して、核兵器禁止条約の締結促進をめざして本気で取り組んでいただきたいと述べておられる。  
**Q** 市は平和首長会議に参加しているがこの設立趣旨は。



平和首長会議を通じ  
締結・批准を求めていく



▶ 市役所本庁、支所、出張所などに建てられている啓発塔

その他の質問

- ・新ごみ施設はごみ減量化で規模縮小を
- ・土地改良の負担なしの制度活用を市でも
- ・学校給食の父母負担軽減を彦根市でも



新ごみ処理施設での  
彦根市の負担増加額は



獅山 向洋議員

200万円から1億7750万円のコスト増になる。30年間では42億6000万円から53億2500万円の増加、50年間では71億円から88億7500万円の増加になる。

**Q** 本市の現清掃センターから愛荘町竹原の新ごみ処理施設候補地までの直線距離・路程距離は。愛荘町竹原から東近江市境界までの直線距離は。  
**A** 竹原までの直線距離は約9.4km、路程距離は約13km、竹原から東近江市までの直線距離は約1.8kmである。  
**Q** 新ごみ処理施設が愛荘町竹原に移転した場合、彦根市の年間ごみ収集経費はどの程度増加するのか。30年間、50年間での増加金額は。  
**A** 現状の収集体制を前提にすると、7.1台程度の増車が必要になるので、増車に伴う収集運搬費用は、年間1億4



年間1億4200万円、  
1億7750万円増



▲彦根市清掃センター

その他の質問

- ・新市民体育センターについて
- ・彦根城一帯の文化財および観光資源の利活用について

# 意見書案を全会一致で可決しました

## 彦根愛知犬上地域ごみ処理施設に関する意見書

彦根愛知犬上地域ごみ処理施設の建設候補地は、彦根市長である大久保市長が、彦根愛知犬上広域行政組合管理者として、平成29年6月30日に愛荘町竹原と公表されたが、その決定経過には多くの疑問点が存在することから、彦根市議会9月定例会においても、複数の会派、議員よりごみ処理施設候補地選定について多くの質問があった。しかしながら明確で納得のいく答弁がなされていないため、彦根市議会としても市民に説明責任が果たせるものではない。

こうしたことから、彦根愛知犬上地域ごみ処理施設の建設候補地選定については、彦根愛知犬上広域行政組合で慎重に審議されるよう、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年（2017年）10月12日

彦 根 市 議 会

彦根愛知犬上広域行政組合管理者 殿

# 彦根市城山観覧料を改正する議員提案条例を賛成多数で可決しました

国宝であり、世界遺産登録を目指している「彦根城」を美しく整備するため、彦根市城山観覧料の値上げを行うものです。

なお、本件は、国宝・彦根城築城410年祭閉幕後の平成29年12月11日から施行されます。

※改正後の観覧料

区 分		観 覧 料	玄宮園のみの観覧料
個人	一 般	800円	200円
	小 中 学 生	200円	100円
団体	30人以上	一 般	180円
		小中学生	90円
	100人以上	一 般	160円
		小中学生	80円
	300人以上	一 般	140円
		小中学生	70円

備考 上記の金額は、1人1回当たりのものです。

9月定例会追加議案に対しての個人質疑

奥野嘉己議員から個人質疑があった。

○議案第81号に対する主な質疑

Q 実質収支は3年連続の減少傾向にあり、このままでは赤字団体に転落する可能性もあるが、見解は。

A 実質収支が大きく黒字となる見込みが立てば、財政調整基金をはじめとした各種基金へ積み立てを行う等、実質収支額を上手く活用し、引き続き、健全な財政運営に努める。

Q 経常収支比率が3年連続して悪化したが見解は。

A 要因として、人事院勧告による給与の引き上げや職員数の増加などによる人件費の増加、また学校給食センターや放課後児童クラブ運営経費の増加が挙げられる。今後も義務的経費は増加することが想定されるため、引き続き財源の確保に努めるとともに、義務的経費以外の市単独事業や投資的事業の実施についても、事業の緊急性、投資効果および負担を検証しながら総合的に判断する。

議会 ICT化  
推進  
プロジェクト  
チーム  
視察報告

今回の視察で、議会のICT化やそれに伴うタブレット端末の導入は、市民に開かれた議会や、情報公開といった「議会の見える化」のために必要であるということに改めて認識しました。



視察日：平成29年6月28日（水）

- ・視察先：愛知県安城市議会
- ・テーマ：議会のICT化について

政務活動費

政務活動費とは、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派に交付されているお金です。本市では、各会派（所属議員が一人の場合も含む）に対して、所属議員1人当たり年24万円を交付しています。

また、本市では政務活動費の用途基準を条例で定め明確化するとともに、領収書を添えた収支報告書の提出を義務付けています。※平成28年度分からホームページで領収書の公開も開始しました。

会派別一覧表（平成28年度交付分 収支報告書）（単位：円）

交付会派名	人数	平成28年度 交付決定額	支出額	うち会派 自己資金	返還額	執行率 (%)
公政会	10	2,400,000	1,850,644	0	549,356	77.11
夢みらい	6	1,440,000	1,375,070	0	64,930	95.49
公明党 彦根市議団	2	480,000	384,790	0	95,210	80.16
日本共産党 彦根市会議員団	2	480,000	522,690	42,690	0	108.89
begin27・明い彦根市民の会	2	480,000	480,697	697	0	100.15
志士の会	1	240,000	225,257	0	14,743	93.86
Belief	1	240,000	33,505	0	206,495	13.96

平成28年度分実績

※収支内訳や領収書、その他、政務活動費にかかる詳細説明については、「彦根市議会ホームページ」でご覧いただけます。

8月1日（火）に滋賀大学経済学部 小倉経済学部長と彦根市議会 八木議長が「滋賀大学経済学部と彦根市議会との連携および協力に関する協定書」の調印を交しました。

この協定は、滋賀大学経済学部と彦根市議会との連携、相互協力により、地方自治および地域社会の活性化と地域における人材育成に寄与することを目的とするものです。

今後は、滋賀大学経済学部における教育・研究活動の充実・発展に資する事業、彦根市議会における広報・広聴活動等、活動の充実・発展に関する事業などについて、相互に連携・協力をを行います。



### 大学の講義に議員が参加！

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| ① 平成29年10月24日（火） | いずれも10:30～12:00 |
| ② 平成29年11月14日（火） | 滋賀大学経済学部        |
| ③ 平成29年11月28日（火） | 校舎棟にて           |

議員から、議員になろうとした理由や議員として目指すところ、市政についてや議員からの情報発信（市議会だより）等、各回のテーマについて講義を行った後、議員と学生によるグループワークを行います。

# 彦根市議会は滋賀大学経済学部と協定書を締結しました

# 議会 × 大学 連携

## 広報委員会

先進地  
視察報告

「議会の広報活動について」  
をテーマに議会だよりの編集やフェイスブック等SNSの活用について、先進地である兵庫県三田市と兵庫県丹波市で調査を実施しました。

両市とも議会だよりのコンセプトやターゲットを明確に設定し、レイアウトや余白を上手く活かしつつ、読み手が親しみやすく・手に取りやすい紙面づくりに努めておられました。

本市も議会だよりのネーミングの募集や読み手の「声」を吸い上げ、反映させる手法について研究していかねばならないと感じるとともに、今回の視察でこれまで以上に議会の活動を市民の皆さまにお知らせする

この意義や重みを再確認し、広報委員会として多くの改善すべき事項を学ぶことができました。

視察日：7月6日～7日  
「議会の広報活動について」

- ・兵庫県三田市議会
- ・兵庫県丹波市議会



▲丹波市議会視察の様子

## 「市議会定例会開催場所」について

現在、市役所本庁舎の耐震化工事を行っていますが、市議会定例会の本会議はこれまでどおり、市役所本庁舎（彦根市元町4番2号）の5階議場で、また、各常任委員会は5階第3委員会室で開催します。

なお、市議会定例会や各常任委員会の傍聴にお越しの際は、市役所本庁舎北側入口をご利用ください。  
※駐車場は市役所本庁舎裏の立体駐車場をご利用ください。

### 「子ども議会」

日時：11月18日（土） 9：15～11：15  
場所：彦根市役所本庁舎5階議場（彦根市元町4番2号）  
内容：市内小学校に通う6年生の児童が議員として質問します。

### 「議場コンサート」

日時：12月4日（月） 13：00～13：30  
場所：彦根市役所本庁舎5階議場（彦根市元町4番2号）  
出演：ハーモニカ・ごスマイル  
内容：ハーモニカ演奏

カタリバは、カフェのような雰囲気の中で  
 コーヒーやお茶を飲みながら  
 市政に対するご意見を持ち寄っていただく  
 彦根市議会主催の意見交換会です。  
 今回のテーマは「こんな街にしたいな彦根を」。  
 テーマに沿ったご意見やご提言をお待ちしております。  
 事前のお申し込みは不要です。  
 どうぞお気軽にご参加ください。

あ  
 な  
 た  
 の  
 声  
 を  
 市  
 政  
 に  
 活  
 か  
 す

日時 **11/23** 木/祝 14:00～15:30  
 (受付は 13:30～)

会場 **ビバシティ彦根2階 研修室**  
 (まんまるひろば横) 彦根市竹ヶ鼻町 43-1

彦根市議会  
 議会報告会

# カタリバ



## 編集後記

9月定例会におきましては、2会派による代表質問ならびに19名の議員による個人質問を行いました。また、彦根愛知犬上地域ごみ処理施設の問題や彦根市城山観覧料徴収条例の一部を改正する条例案など様々な議案等に関する熱い議論を行いました。

これからも、彦根市議会へのご理解とご協力をお願いいたします。

広報委員会

彦根市立南中学校出身の桐生祥秀選手が記録した男子100m走の日本新記録(9秒98)は、私たち彦根市民に夢・感動・誇りを与えてくれました。この偉業は、永年に渡り語り継がれていくものと考えます。桐生選手の今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。



次の定例会は **12月**です

### 本会議・委員会の日程(予定)

月 日	内 容	時 刻
12月 4日(月)	開 会	9:00
12月11日(月)	個人質問	9:00
12月12日(火)		
12月13日(水)		
12月14日(木)	予 算 常 任 委 員 会	9:30
12月15日(金)	市 民 産 業 建 設 常 任 委 員 会	9:30
12月18日(月)	企 画 総 務 消 防 常 任 委 員 会	9:30
12月19日(火)	福 祉 病 院 教 育 常 任 委 員 会	9:30
12月21日(木)	閉 会	9:00

議会の傍聴は事前申込み不要です。お気軽にお越しください。  
 ※「開会」「個人質問」「閉会」は市役所本庁舎5階議場、「各常任委員会」は市役所本庁舎5階第3委員会室で開催します。